

2024/02/06 9:00-16:00

「現代バングラデシュ」研究会

オンライン開催

報告要旨

タイトル：「女性の労働とジェンダー規範」

発表：鈴木亜望（神戸大学）

ジェンダー規範、特にパルダ規範とその実践については、バングラデシュの貧困、開発、経済をめぐる様々なトピックに関連して議論されてきた。1990年代以降、グローバル経済に巻き込まれ、女性の労働実践が劇的な変化をおこした。そこから30年以上がたった2020年代は、バングラデシュの都市部に生きる女性たちにとって、家の外での賃金労働は特殊なことではなく、ごく当たり前のものとなったこととして捉え直す必要がある。そこで本研究では、パルダがいかに議論されてきたかを整理したうえで、文化人類学的な観点から都市部を対象として、2020年代以降に見られるようになった女性の労働の事例をとらえ、パルダの変容について検討する。

女性の状況は変わりつつあるものの、サービスセクターの事例でもパルダが維持、再生産される様子が観察された。パルダを抑圧といった形で捉えてしまうのではなく、意味や実践を変えて継続していくあり方に文化理解が必要であると指摘する。